

このたびは、新型コロナウイルス感染症への十分な配慮のもとで、「神奈川県生活協同組合連合会」第69回通常総会が無事に開催されますことをお祝い申し上げます。

また、国から緊急事態宣言が発出される厳しい状況の中で、連合会や各会員生協の皆様が、医療従事者への支援をはじめ様々な取組にご尽力されておられることに、心から敬意を表する次第です。

連合会におかれましては、平成30年の「フードバンクかながわ」設立を通じて、食品ロス削減、さらには生活困窮者への支援など、国の動きに先駆けた意欲的な取組を行ってられると承知しております。また、県の「かながわプラごみゼロ宣言」にご賛同いただき、レジ袋・プラごみ削減の取組や、環境問題等に関する啓発の推進など、プラごみの発生抑制に向けてご尽力いただいているところです。

連合会の皆様方が、様々な分野において公共的な役割を担い、積極的に取組を進めておられることに、県として大変心強く思うとともに、改めて感謝申し上げます。

県では、本年3月に、昨今の消費者を取り巻く環境の変化などに対応するため、「かながわ消費者施策推進指針」を改定いたしました。

この指針では、SDGsの理念を踏まえた4つの基本方向を定めるとともに、喫緊の課題である「高齢者の消費者被害の未然防止と救済」と「成年年齢引下げに伴う若者への消費者教育の充実」について重点的に取組むこととしております。

今後、消費者団体の皆様との連携・協力のもとで、この

指針に基づき着実な施策の展開を図っていく所存でございますが、昨今、新型コロナウイルス感染症に係る「新しい生活様式」が模索される中、こうした生活様式の変化にも適切に対応していかなければならないと感じているところでございます。

地域や職域といった人と人とのつながりで成り立っている会員生協や連合会の皆様は、日頃の事業活動を通じて、消費者を取り巻く状況の変化を身近に感じることもできるお立場にあります。今後とも、県の消費者施策の立案・実施に当たり、貴重なご意見・ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、神奈川県生活協同組合連合会と各会員生協のさらなるご発展とご出席の皆様の益々のご健勝・ご活躍をお祈り申し上げ、総会開催に当たってのメッセージとさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。

神奈川県くらし安全防災局
消費生活担当部長 高瀬 正明